

令和5年2月17日（金）
第3期第4回在宅医療・介護連携に関する検討部会 兼
令和4年度第2回日進市在宅医療・介護連携支援センター運営協議会
別添資料1

日進市「健やかにつしん・ヘルピーネット」 ～愛知県医療療育総合センターとの広域連携～

2023/2/17
株式会社インターネットイニシアティブ
公共システム事業部 ヘルスケア事業推進部

上級コンサルタント
医療福祉情報連携コーディネーター
小椋 大嗣

(名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部
先端医療・臨床研究支援センター
センター長補佐)

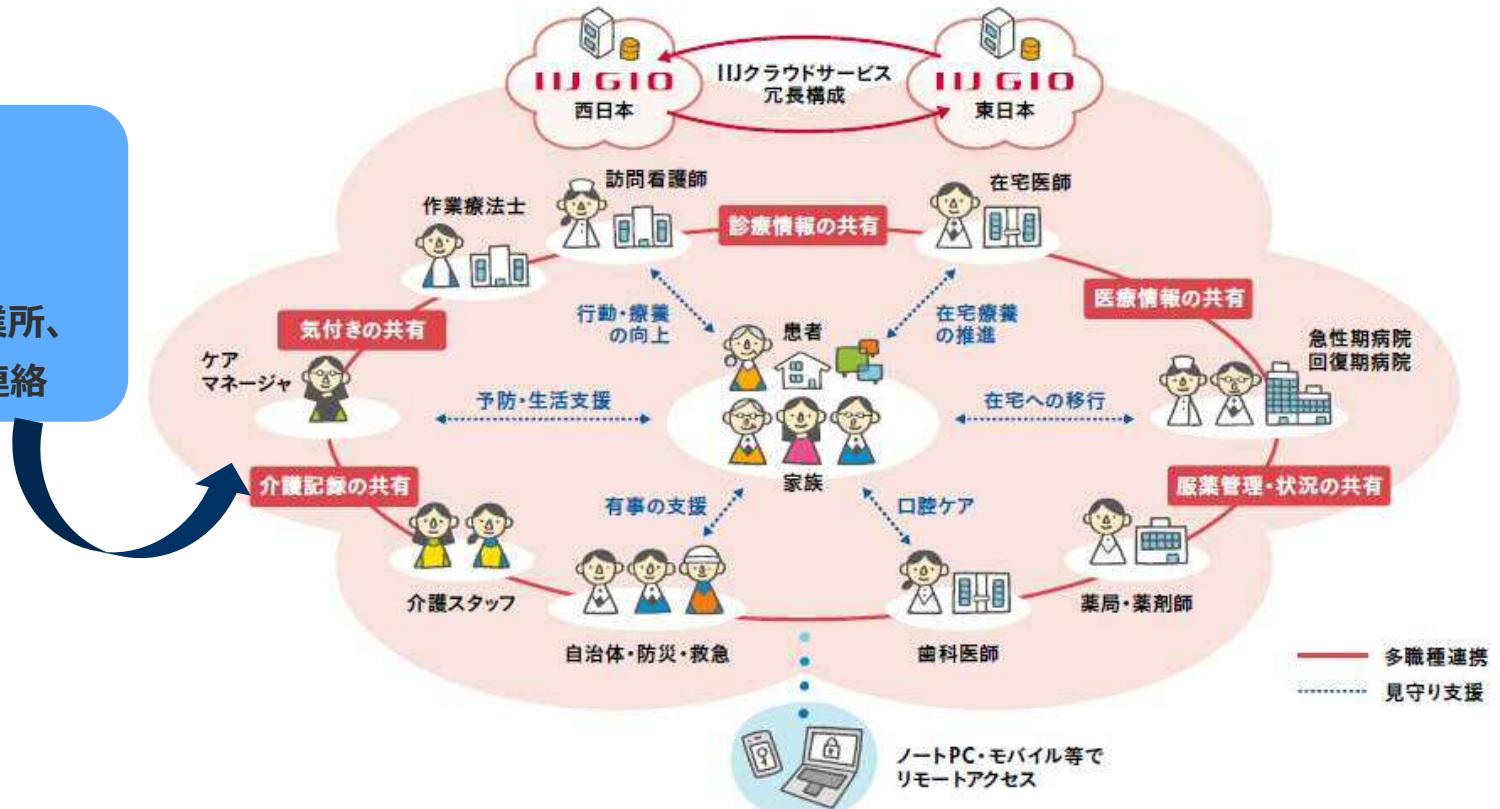


「健やかにつしん・ヘルピーネット」地域包括ケアシステムの推進



日進市

各市町村の登録事業所、
利用者への周知・連絡



行政を含めた多職種間・異業種間の情報連携と共有

1チームでの患者支援を実現

国からの通知・連絡

各専門職の訪問結果（過去も含む）

患者さんの「くらし」の記録

疾病・服薬・バイタル状況の共有

はじめに



「ここの一と」は患者さん・ご家族のプライバシー保護を厳重に図りながら、患者さん・ご家族から「くらしの記録」（例：日々の日記、くらしのようす）を急性期病院、地域のかかりつけ医・多職種に共有することで、各専門職からの的確な在宅療育の支援を受けることが可能になります。

「電子@連絡帳」と「ここの一と」を連携して利用することにより、患者さん・ご家族の最新の治療計画、在宅療育環境、不安に思っていることなどの情報が瞬時に専門職間連携され、複数医療機関での外来での診療においても、他の病院での治療計画が事前に専門職間で共有されることで、より質の高い細やかな診療計画と対応が可能となり、患者さんの不安の軽減につながります。

<連携イメージ図>



<システム連携イメージ図>



愛知県医療療育総合センター「このはネット」



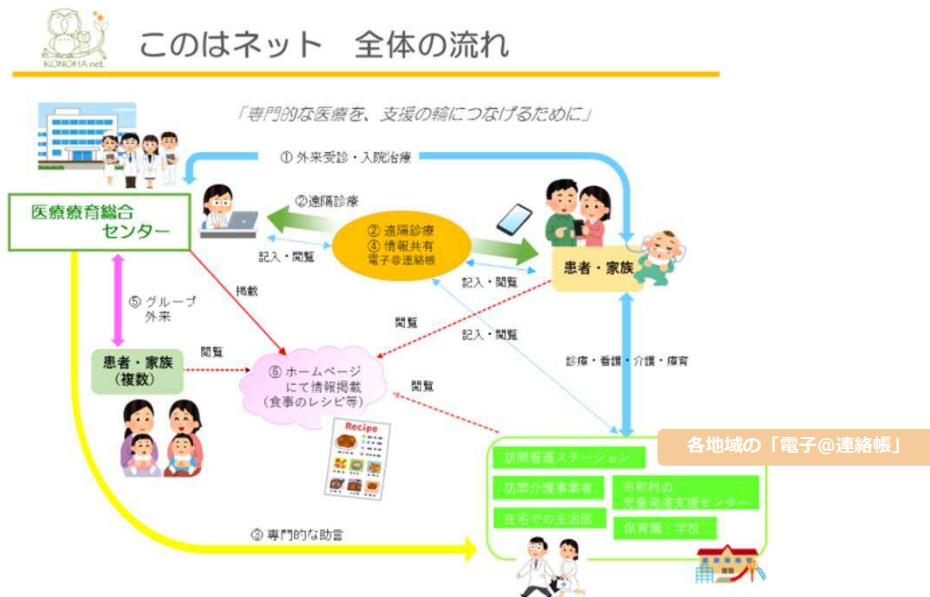
目的

- ① 医療的ケア児を始めとする県内の障害児者の在宅生活の質の向上を図る。
- ② かかりつけ医などの支援者と連携し、センターが持つ知識・技術を地域に還元する。
- ③ 遠隔診療（オンライン診療）により、重度障害者の通院負担を軽減する。



愛知県医療療育総合センター「このはネット」との連携

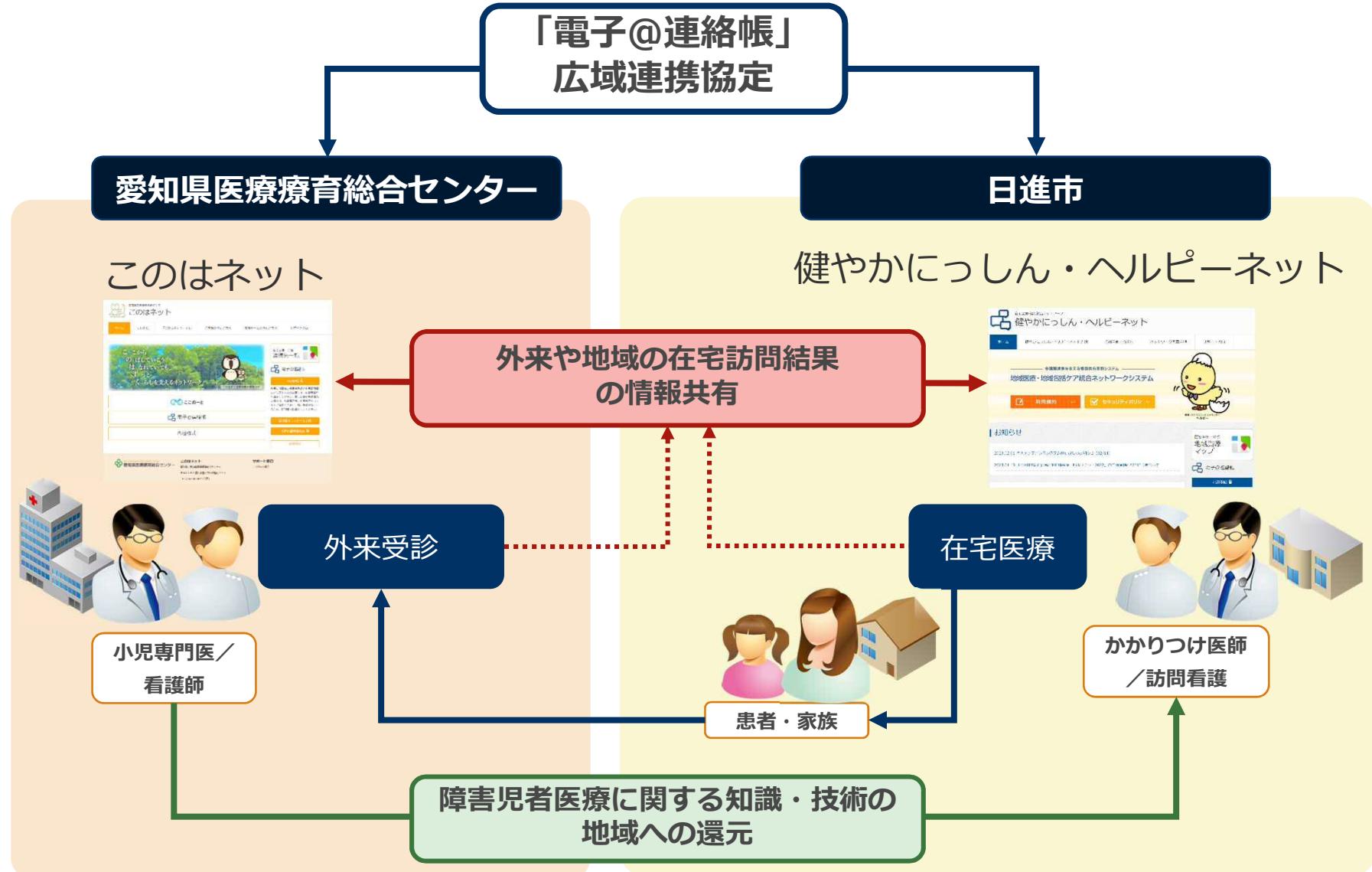
2021年4月1日より、愛知県医療療育総合センターで「このはネット」運用が開始されました。



＜事業目的＞

医療的ケアを必要とする障害児者のプライバシー保護を厳重に図りながら、患者さんやそのご家族を中心として、行政、教育機関、医療機関、施設、薬局、訪問看護ステーションといった在宅サービス提供者を電子ネットワークで結び、その方の医療・福祉サービスの情報の一部を共有することによって、質の高い医療と療育環境を提供することを目的としています。

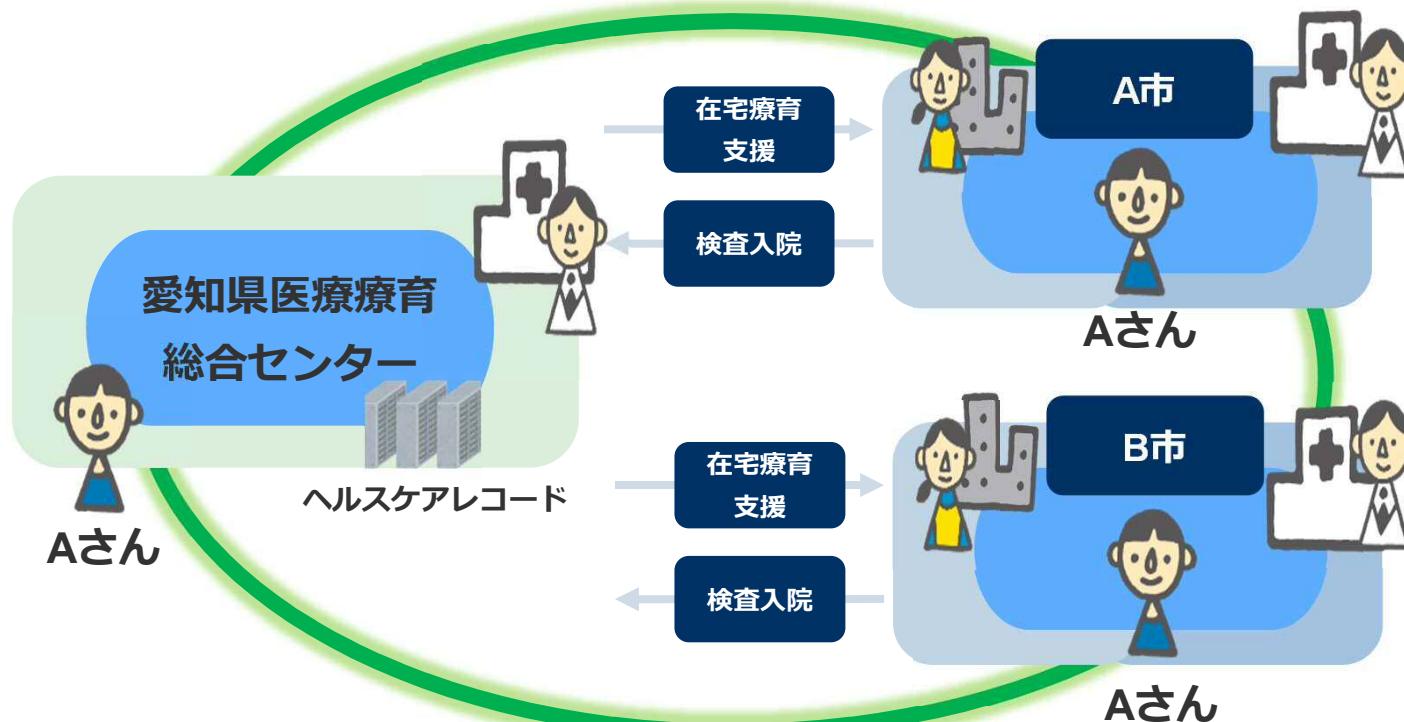
「このはネット」は、医療・福祉従事者を始めとする支援者が利用する「電子@連絡帳」と、患者さんやそのご家族が利用する「このーと」で構成されています。



「電子@連絡帳」広域連携機能

患者IDは1つで生涯のヘルスケアレコードを蓄積

- 「電子@連絡帳」の患者IDは生涯1つであり、引っ越しなどで居住地域が変わってもこれまでの既往歴は蓄積され、各地域の医師は患者さんのこれまでの既往歴を参照しながら、小児急性期病院との連携により患者さんの在宅療育継続の支援が可能です。



【先行導入事例】愛知県医療療育総合センター ⇄瀬戸市



「愛知県医療療育総合センター」は患者・家族連携「ここの一と」を導入し、ICTを活用して瀬戸市在住の「医療的ケア児・者」患者・家族の支援を進めています。導入効果として下記事例をもらっています。

愛知県医療療育総合センター ～「電子@連絡帳」「ここの一と」導入効果に関して～

■患者・ご家族の負担軽減

- 1) 今まででは、患者さんの利用する「医療機関、訪問看護ステーション、介護施設の処置内容」に関して、家族（主にお母さん）から情報をもらわないと分からなかつた（お母さんが一生懸命に関係機関と連携）が、「電子@連絡帳」を導入し患者支援チームが連携することで、外来診療の情報、地元かかりつけ医の在宅訪問の結果、歯科医師、眼科医師、複数個所の訪問看護ステーションの処置内容などの患者支援の情報が事前に患者支援チームで分かるようになった。
- 2) 愛知県医療療育総合センターで行っていた医療処置が、地元のかかりつけ医でも行えるようになった。（かかりつけ医を後方支援病院として、愛知県医療療育総合センターが支援）
- 3) 愛知県医療療育総合センターからオンライン診療を受けられるようになった。
(オンライン診療の結果を「電子@連絡帳」で患者支援チームに共有)

■「ここの一と」の導入

- 1) 自宅で子供ができたこと（理学療法）を患者支援チームに知ってもらえる。
- 2) 栄養指導など食事の状態を知ってもらい、次回の外来時に具体的な相談をしてもらえる。
- 3) 愛知県医療療育総合センターだけでなく、地元の介護スタッフにも一緒に知ってもらえる。



在宅で「できしたこと」を医師や支援メンバーに共有





食事の状態の共有



このーと連携（患者に共有）

このーと

2021/04/27 13:26

患者に公開

今朝は体温36.3度でお昼も今日は口から完食しました。今の熱も36.7度で少し落ち着いてきました。

今日のお昼は

ご飯

ビーフシチュー

ヨーグルトです。

お茶やソリタで水分は多めにあげたいと思います。



3826.jpg :



「ここの一と」(患者・家族)投稿事例

ここの一と

検索する 更新 メニュー

先生とのやりとり みんなにつぶやく

いつもお世話になっております。 [家族・サポーター] 母です。

[家族・サポーター] まで、[家族・サポーター] 病院に、検査入院に行ってきます。準備など、色々お手数おかけしますが、よろしくお願いします。

左足の傷口のことですが、塗り薬は、なしで、サラフィットで、保護しますが、浸出液が、沢山出てきます。何か？塗り薬塗った方が、良いですか？？




NO IMAGE 家族・サポーター

病院への検査入院

お世話になっております。

無事藤田に着いて、8C病棟に、入院しました。今から、採血です。



2019年07月08日 14時48分

修正 削除

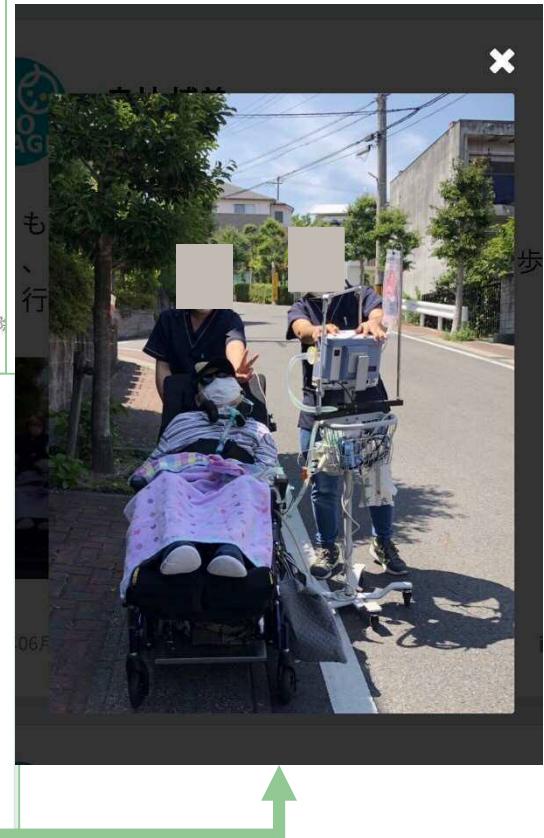
NO IMAGE 家族・サポーター

いつもお世話になっております。今日、リハビリの時に、家の周り一周散歩連れて行ってもらいました。



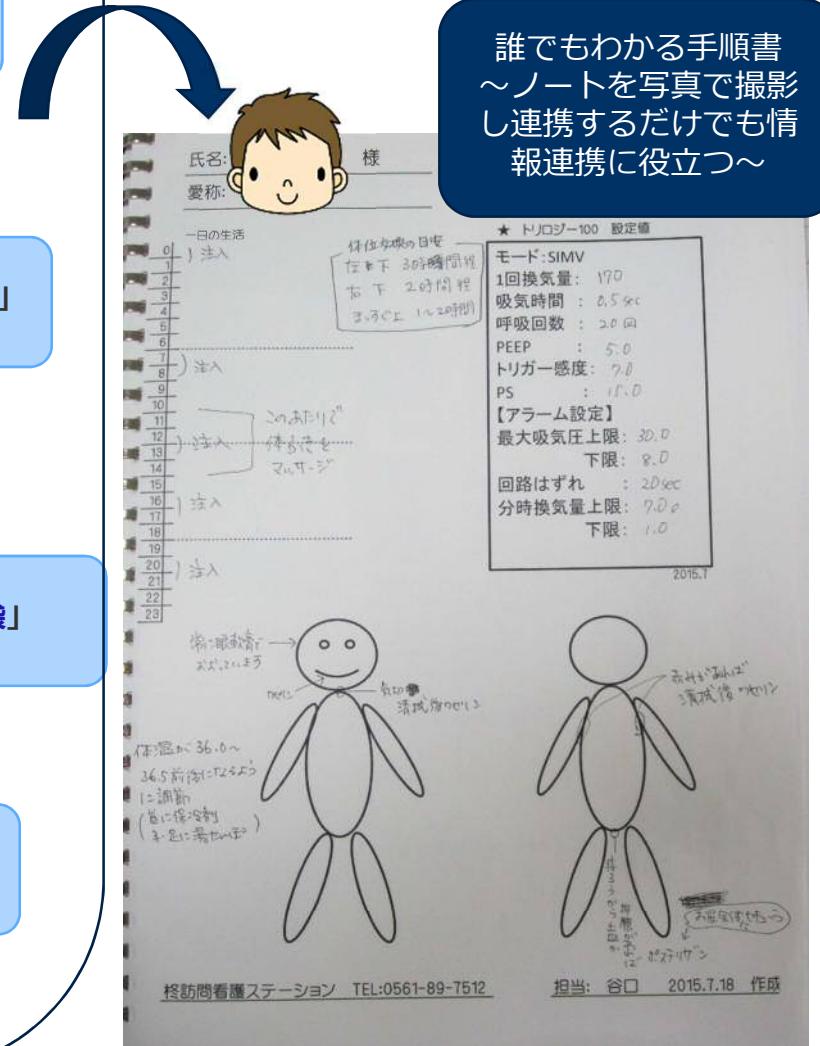
2019年06月06日 21時05分

修正 削除





レスパイト情報 患者さん情報の連携～



参考資料

【患者・家族向け】
ここの一との画面



「ここの一と」ログイン①



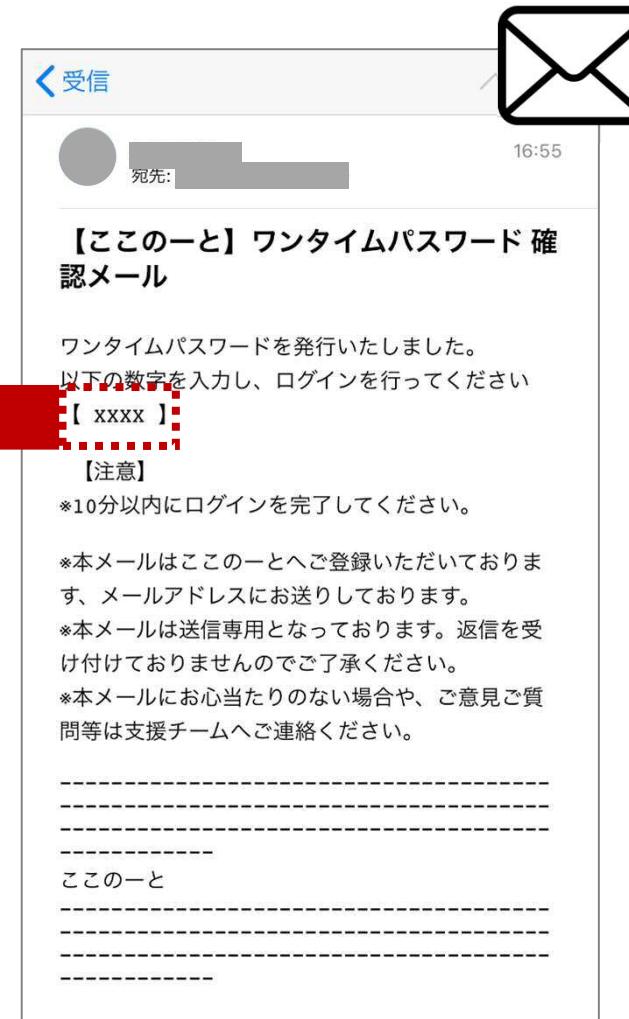
ログインID・パスワードを入力します。



「ここの一と」ログイン②



登録しているメールアドレスにワンタイムパスワードが送信されます。ワンタイムパスワード（数字4桁）を入力します。



ここの一と投稿（患者から支援チームへ）



The screenshot shows the Kokoneto app interface. At the top, there is a navigation bar with a search icon, refresh icon, and menu icon. A red circle labeled '1' points to the text 'みんなにつぶやく' (Everyone's post) in a blue button. Below this, a red box labeled '2' encloses a text input field containing the placeholder '今日はどんな1日でしたか？' (How was your day?). To the right of the input field is a red callout box stating: '最上部が『みんなにつぶやく』になっていることを確認します。' (Confirm that the top part is set to 'Everyone's post'). The main content area shows a message from a user named 'こっこのーと母' (Mother of Kotto), with the status '家族・サポーター'. The message reads: 'はい、その場合は再度ご連絡させていただきます。一応、本日は幼稚園に通っています。幼稚園の先生にもお伝えしてあり、もし体調が悪そうであればすぐ迎えに行けるようにしてあります。また、体調が悪化した場合再度連絡致します。よろしく御願い致します。' (Yes, in that case, we will contact you again. Today, I am sending my child to kindergarten. I have informed the teacher, so if they feel unwell, we will pick them up immediately. In case their condition worsens, we will contact you again. Thank you for your understanding.). At the bottom, there are three circular icons: a teal one with a bar chart, an orange one with a house, and a light blue one with a calendar. The text '2020年11月01日 15分' (November 1, 2020, 15 minutes ago) is also visible.

1 最上部が「みんなにつぶやく」になっていることを確認します。

2 「今日はどんな1日でしたか？」をタップ、またはクリックします。

※注意※

「みんなにつぶやく」は患者の支援チーム全員とやりとりができます。



ここの一と投稿（患者から特定の専門職へ）

The screenshot shows the 'Kokoneito' app interface. On the left, the main screen displays a message '今日はどんな1日でしたか？' (How was your day?) with a '変更する' (Change) button. On the right, a detailed selection dialog titled '先生を選択する' (Select Doctor) lists several medical professionals and facilities, each with a '選択' (Select) button. A red arrow points from the '変更する' button to the selection dialog.

1 最上部が「先生とのやりとり」になっていることを確認します。

2 「今日はどんな1日でしたか？」をタップ、またはクリックします。

画面中段に宛先設定があります。

※注意※

「先生とのやりとり」は特定の専門職とやりとりができます。
宛先を間違えないように注意してください。



バイタルの入力

患者・家族からのバイタル情報の入力

例

バイタルの新規作成

測定日時 2020/04/17 15:00

心拍数を記載 85

体温を記載 36.6 °C

血圧を記載 110 / 80

SpO2を記載 93 %

体重を記載 26.8 kg

体調(自由記入)

登録する



ここの一と

新規登録する

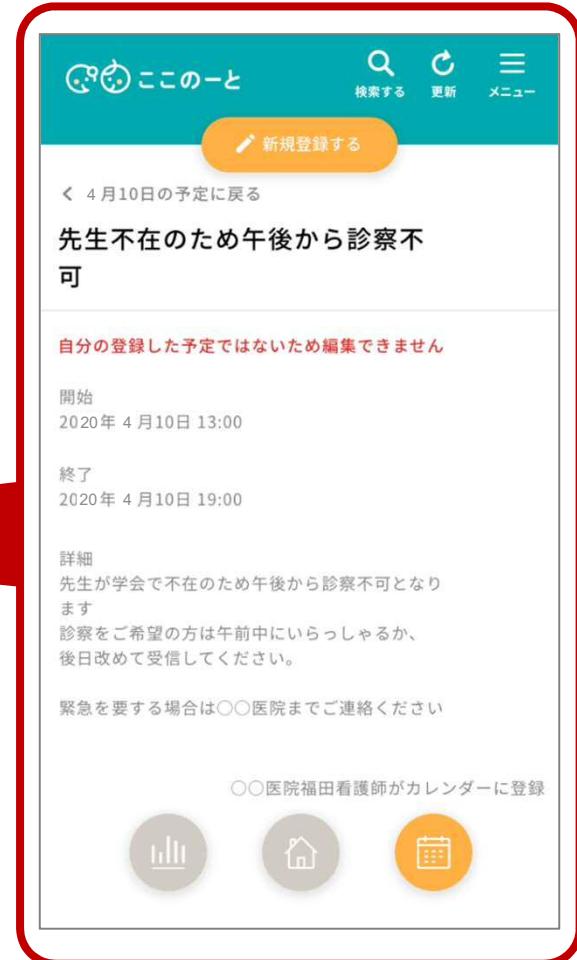
	記載者	心拍数	体温	血圧	SpO2	体重
土 7	佐々木…	134	36.47	150 / 150	180	149.99
金 6	佐々木…	134	36.47	150 / 150	180	149.99
木 5	佐々木…	134	36.47	150 / 150	180	149.99
水 4	佐々木…	134	36.47	150 / 150	180	149.99
火 3	佐々木…	134	36.47	150 / 150	180	149.99



スケジュールの入力と共有



画面右下部の「」ボタンをタップするとスケジュール画面へ遷移します。。



【専門職向け】 「電子@連絡帳」での「ここのーと投稿」確認 と患者・家族への投稿





「このーと」専門職が利用する画面での投稿の見え方

「電子@連絡帳」で患者さん・ご家族からの投稿を確認します。

患者さん、ご家族からの投稿は、緑の枠がつきます。

患者さん、ご家族に公開されている投稿は「患者に公開」のマークがつきます。

患者さん、ご家族が入力したバイタル情報を確認できます。

© Internet Initiative Japan Inc.

測定日	時刻	(mmHg)	(mmHg)	(mmHg)	(°C)	(%)	体重	休調	入力者
2021/01/23	07:16	105	-	74	82	37.1	99	-	右脇37.1 左脇37.4
2021/01/23	08:22	115	-	81	71	37.5	99	-	
2021/01/23	06:07	111	-	90	75	38.1	99	-	
2021/01/23	05:19	128	-	90	71	37.4	99	-	
2021/01/23	02:21	107	-	81	72	-	100	-	
2021/01/23	01:57	108	-	80	77	-	100	-	
2021/01/23	01:38	100	-	75	86	-	100	-	排便終了！水10㍑
2021/01/23	00:55	101	-	75	85	-	100	-	
2021/01/23	00:34	98	-	74	77	-	100	-	
2021/01/22	23:56	106	-	82	80	-	100	-	

「ここの一と」専門職から患者さん・ご家族への投稿画面



「電子@連絡帳」で患者さん・ご家族にメッセージを投稿します。

The screenshot shows the 'Electronic Contact Book' application interface. On the left, there's a sidebar with various icons for Home, Patients, Projects, Messages, and Management. The main area displays a patient profile for '赤林' (Akirin) from '瀬戸市 南山町' (Seto City, Nankoku Town), 22 years old, male. A red box highlights the 'ここの一と連携' (Kokoneto Connect) button in the toolbar. Below it, a message composition window is open, showing a recipient list with several 'ここの一と' entries highlighted by a red box. A second red box points to the same list with the text: 'メッセージが送信される宛先（患者さん、ご家族）を確認します。' (Confirm the recipient (patient, family member) where the message will be sent). A third red box at the bottom points to the message body area with the text: '「ここの一と」投稿の場合、緑の枠で表示されます。' (When posting to 'Kokoneto', it will be displayed in a green frame).



本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示しておりません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。